

# ケアネットせとうち通信

## 笑顔で長生きできるまち

みんなで作る!!

### 瀬戸内市の地域包括ケアシステム

ケアネットせとうち（瀬戸内市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会）では、定期的に協議の場を設け「**笑顔で長生きできるまち**」の実現に向け、話し合いを重ねています。

瀬戸内市の地域包括ケアシステムをつくり、具体的な支援に取り組んでいくため、医療・介護・福祉・保健専門職や行政担当者で地域の課題をまとめ、解決に向けて動き始めることになりました。

まずは「地域の今を知ろう!! どんな課題があるのか? どうすれば課題を解決することができるのか?」という視点で邑久医師会、岡山県薬剤師会瀬戸内支部、岡山県介護支援専門員協会瀬戸内支部など、各専門職のみなさんと瀬戸内市トータルサポートセンター準備室で意見交換を行いました。在宅医療・介護に関する意見を整理し、課題をまとめ、それぞれの立場で取り組めることを考え、「認知症の方が集える場をつくる」「多職種が協力して、地域の人たちと一緒に研修会をする」など、多様な提案がありました。

この提案をもとに平成27年度は、多職種による意見交換や研修会、在宅医療・介護に関する市民講座の開催などに取り組んでいきたいと思っています。



邑久医師会  
在宅医療や地域の  
状況について  
話し合いました



介護支援専門員協会  
瀬戸内支部



グループワークを  
行いました



小規模多機能ホーム  
連絡会

# ケア・カフェせとうち

専門職のつながりが育まれています

1周年



2月17日(火)第5回ケア・カフェせとうちを開催しました。瀬戸内市に在住、在勤されている75名の方が集まり、「みんなが住みたくなる瀬戸内市とは」というテーマのもと話し合いました。昨年からはまったケア・カフェせとうちも1年が経過し、毎回、新しく参加される方も増え、専門職のつながりが育まれています。

	開催日	テーマ	参加人数
第1回	平成26年2月6日(木)	お金の問題 ～貧困・医療費・成年後見・経済的被害等～	79
第2回	5月15日(木)	看取り ～希望する場所で最期まで暮らすことは～	103
第3回	8月21日(木)	依存症	76
第4回	10月23日(木)	連携 ～同職種・多職種・地域の仲間いろんな連携～	96
第5回	平成27年2月17日(火)	みんなが住みたくなる瀬戸内市とは ～笑顔で長生きできるまち～	75

ケア・カフェせとうちは、世話人である**ケア・カフェせとうち協力隊**と事務局である瀬戸内市トータルサポートセンター準備室によって運営されています。現在、約20名の**協力隊**(医師・看護師・薬剤師・介護支援専門員・相談員・介護職員など)のみなさんが活躍中です。

## 協力隊はどんなことをしているの？

協力隊は、**マスター**(司会)、**テーブルホスト**(グループトークの進行)、**会場準備**などの運営や、**企画会議**を行っています。企画会議では、次回の開催時期、テーマなどを決定し、「**どうすればケア・カフェせとうちがもっと活発になるか**」話し合い、運営方法を考えています。

参加者アンケートや企画会議の意見を基に、ケア・カフェせとうちは少しずつ変化しています。1人でも多くの方に参加いただき「**ケア・カフェで仲間ができた**」「**支援する中で、いろんな人と連携しやすくなった**」と感じていただけるよう、今後も続けていきたいと思っています。



<話し合ったことを発表し共有します>



<マスター・サブマスターは進行役を務めます>



<多職種で企画会議を行っています>

ケア・カフェとは…ケアに携わる支援者の顔の見える関係づくりと日頃のケアの相談の場です。カフェのような雰囲気の中で、グループに分かれてテーマにそった会話を楽しみます。さらに内容を参加者全員で共有し、いろいろな意見を持ち帰ることを目的としています。



## 緩和ケア研修会

【日時】2月5日(木)19:00～20:30

【テーマ】緩和ケア～口腔ケアと摂食嚥下障害への対応～

【講師】岡山県歯科医師会 公衆衛生部委員長

角谷真一 氏



加齢や病状によって口腔内に変化が現れたり、嚥下障害が起こることもありますが、ターミナル期や緩和ケアを必要としている状態でも「**食べることは、生きる喜びやQOLの向上につながります**」。岡山県歯科医師会より角谷歯科医師をお迎えし、口腔ケアと摂食嚥下障害について研修会を行いました。医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士、介護支援専門員、介護職員など109名の専門職のみなさんが参加され、嚥下のメカニズムや摂食・嚥下障害の予防法、口腔ケアの方法について学びました。

実際にスポンジブラシや口腔ケア用ジェル(研磨剤・発泡剤)を使い、口腔ケアの体験も行いました。

「今まで口腔ケアを何気なく行っていたが、重要性を再認識した。」「口腔ケアを体験することで、患者さんの気持ちが理解できた。」という声もありました。

嚥下機能を保ち、口から食事を食べることができるよう、これからも地域で口腔ケアに取り組んでいきましょう!!



<岡山県歯科医師会 角谷歯科医師>



<口腔ケアを体験しました>

<バリデーション療法を体験しました>

<きのこ老人保健施設 宮本副施設長>

高齢社会の到来と共に認知症の方も増え、今や認知症は地域の中でも身近な病気です。認知症になっても住み慣れた環境で安心して生活できるよう、専門職が理解を深め、認知症の方へどのように関わればよいか学ぶための研修を行い、128名が参加されました。

きのこ老人保健施設より宮本副施設長をお迎えし、「認知症の人を理解する～バリデーション療法～」と題し、

講演をいただきました。バリデーションは**相手の価値を認め勇気づける、尊厳と共感を持って関わる**ことを基本としています。**アイコンタクトや心地よい距離感を保つ**ことは、相手との良好なコミュニケーションにつながります。認知症の方のあるがままを受け入れ、誠実に敬意を持って接することを体験を通じて理解し、多職種で共有することができました。



## 認知症を理解する

【日時】1月29日(木)18:30～20:00

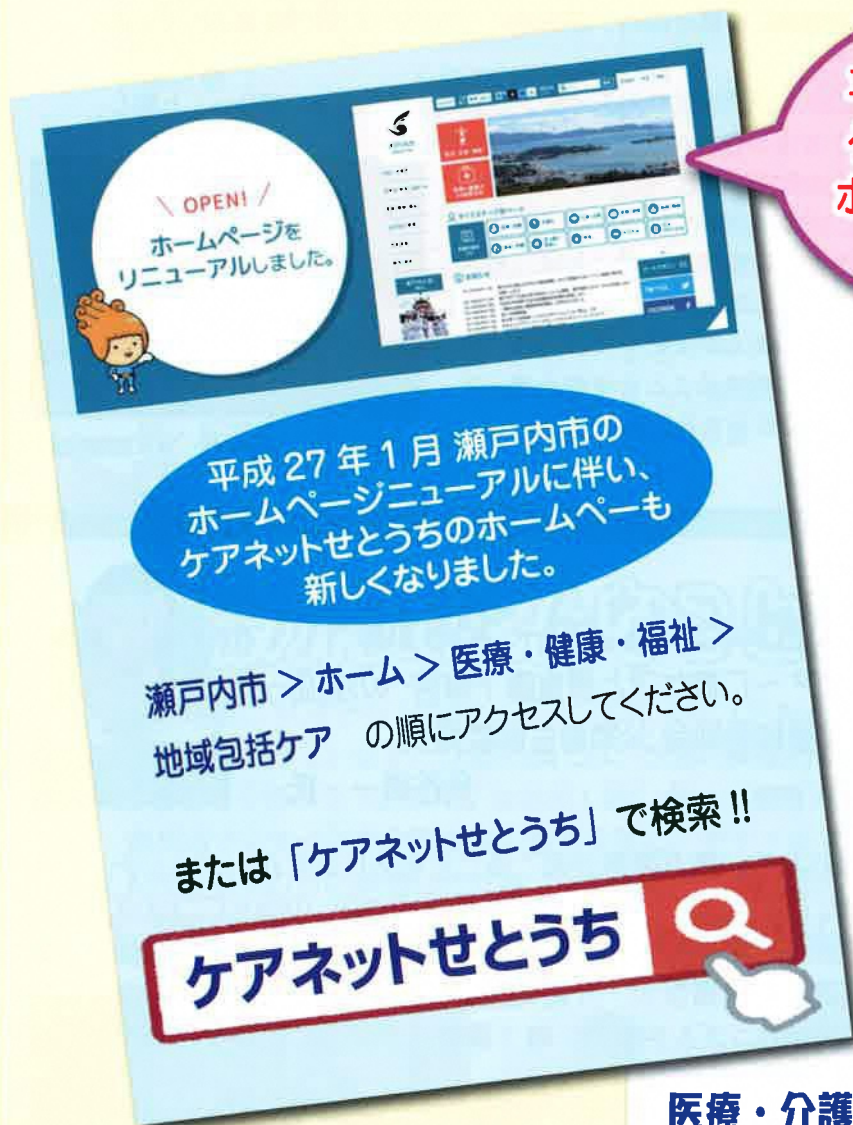
【テーマ】認知症の人を理解する～バリデーション療法～

【講師】きのこ老人保健施設 副施設長 宮本憲男 氏



# ケアネットせとうちの活動は ホームページでもご覧いただけます

研修会やケア・カフェせとうちの開催案内、活動報告をケアネットせとうちのホームページに掲載しています。瀬戸内市内の医療機関・介護事業所などの情報は「医療・介護地域資源マップ」でご覧いただけます。  
是非、ご活用ください。



平成27年1月から  
ケアネットせとうちの  
ホームページも新しく  
なりました!!

今後は、「医療・介護地域資源マップ」への掲載情報を定期的に更新していく予定です。

更新に関するお願いがお手元に届きましたら、ご協力をお願いします。

また、新たに掲載を希望される事業所の方は、瀬戸内市保健福祉部トータルサポートセンター準備室までご連絡ください。

医療・介護地域資源マップに  
についてお知らせ



## <ケアネットせとうち事務局>

瀬戸内市保健福祉部 トータルサポートセンター準備室  
〒701-4246 岡山県瀬戸内市邑久町山田庄 862-1 (瀬戸内市総合福祉センター内)  
電話：0869-22-3800 FAX：0869-22-3801